

鳥取県

海外研修員の紹介

鳥取県では交流している国や地域から、研修員や県費留学生を受け入れています。今号では韓国・江原道から来日した研修員をご紹介します。

江原道

韓国



平成25年度鳥取県・江原道
職員相互派遣事業研修員

チョン ジョギョ
鄭 周教さん
(江原道東海市出身)

私は韓国・江原道では、畜産職公務員として畜産技術研究センターに勤務しています。鶏、特に長い歴史のある種類の鶏の特徴を分析しています。昨年11月中旬ごろ、鳥取県への派遣研修員を選抜するという所内文書を見て、日本が好き!といった理由は、特にありませんでしたが、日本に行ってみたくなりました。過去に派遣され帰国した職員たちの話を聞いてみると、それぞれが日本に対する関心や思いを持って鳥取へ出かけたようですが、私は何も動機を持っていませんでした。ただ、その文書にひかれたと言うしか他に表現する方法がありません。またおもしろいことに、今回の派遣に対して申し込んだのは私一人で、他はいなかったということです。本来は、日本語がある程度できることが派遣条件になっていますが、面接試験の際に、「日本語の勉強をがんばります。」と約束したところ、派遣研修員として合格をもらえました。その後、約束通り今年1月から日本語の勉強を始め、個人レッスンを週5回1日1時間半受けました。最初は、<ひらがな>や<カタカナ>を学び、意外に簡単だと思いましたが、漢字や語彙に入ると難しくなり、時間はやるせなく流れて4月2日に鳥取県にきました。

来県から半年経ち、日本の生活はまだ戸惑うこともありますが、だいが慣れてきました。私の趣味の中でも一番好きなことは登山です。日本に来る直前まで登山を楽しみましたが、日本の山は韓国の山より標高が高く、3,000メートル以上の山がたくさんあるので、私には良い機会だと思いました。韓国で最も高い山は、ハンラ山で標高1,950メートルです。2,000メートル以上の山はありません。しかし、韓国には世界的に有名な登山家たちがたくさんいます。鳥取県の一番高い山、大山は標高1,729メートルで、江原道にあるソラク山(1,708メートル)と同じ程度の高さです。同じような山が鳥取と江原道にあり、気候や風景なども似た点が多いので、私にとって鳥取は過ごしやすいです。

私は幼い頃から、春になっても頂上が雪で覆われた山を見るたびに、登りたくて仕方がなかったけれども、登る機会がありませんでした。公務員になった後、友達の手伝いで30歳の時職場の山岳会に加入し、それがきっかけとなり、今まで山に登ってきました。韓国ではたいていの方は、トレッキングを楽しみます。適度な距離を日帰り登山するので、特別な技術や装備は必要なく、週末に気軽に山へ出かけます。私が鳥取へ来てから登った山は大山、氷ノ山(1,510m)、扇ノ山(1,310m)で、すべてトレッキングに該当します。韓国では、ソラク山から久松山のような低い山を含めると、登山者はおよそ1,200万人と、国民人口に対して登山人口の割合が多いです。鳥取県は登山人口が韓国に比べて少なく、登山の種類もほとんどの方がトレッキングのレベルで、ロッククライミングは一部の学校の山岳部がしているようですが、技術や装備が必要な登山を楽しむ方が少ないように感じます。

韓国の登山路は急傾斜地が多くて、コースが長いという特徴があります。日本の登山路は頂上にできるだけ近い地点から登頂を開始し、山の高さに比べて登山路が短く、登山路の傾斜も緩やかなのが特徴です。また、韓国はたいていの職場に山岳会がありますが、鳥取県は山岳会が少ないように思われます。皆さんの職場には、山岳会がありますか。鳥取で登山をした際に一緒になった人たちの中には、若い人もいましたが、ほとんどの登山者の年齢は韓国に比べて高いと思いました。



▲韓国 ソラク山にて

日本に滞在している間、韓国で一番有名で、今年7月世界遺産に登録された富士山に登り、ご来光を見たいし、韓国人が一番好きな中央アルプスにも登りたいです。そうすれば一生記憶に残ると思います。

JICAデスク
よりお知らせ

JICA海外ボランティア「体験談&説明会」を開催!

平成25年度
秋募集

10月1日から始まる秋募集に伴い、活動を終えた帰国隊員による体験談や応募に係る疑問・質問や相談にお答えする説明会を開催します。興味・関心のある方は、是非お越しください。

日時 10月6日(日)

会場 とりぎん文化会館 第2会議室

14:30~16:00 映画無料上映会「happy」 <http://www.happyrevolution.net/>

16:00~18:00 青年海外協力隊、シニア海外ボランティア「体験談&説明会」

お問い合わせ



独立行政法人 国際協力機構

鳥取県JICAデスク
【鳥取県国際交流財団本所内】

TEL:0857-31-5951 (浅野)
E-mail: jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp

参加
無料



予約不要・入退室自由



自分を、日本を、世界を見つめる時間

今年の2月から1年間の予定で「公益財団法人AFS日本協会(高校生留学を支援する団体)」のプログラムを通して南米パラグアイの高校に留学中。

私は、今、首都アスンシオンでホームステイをして現地の高校に通っています。ここに来て2、3ヶ月ほどは自分の感情もおなかの調子もゲリラ豪雨といった感じでした(笑)。というのも、パラグアイ人は南米特有のおおらかさというのか、大雑把で、時間にはルーズ、急けた感じが強い。初めは、そういったところが目について、「どうしてこの国の人は・・・。」と悩みました。例えば、掃除は表向ききれいになれば良いと言い、約束の時間には30分遅れは当たり前、1時間遅れなんて珍しいことでもない。先日、ホストファミリーに連れられ、テコンドーの大会(パラグアイは韓国からの移住者が多く、あちこちにテコンドー道場を見かける)に行った時は朝9時に始まり、夜の10時を過ぎても終わりませんでした。時間を守らないというよりは計画性がないのかな・・・。学校での授業もあまり積極的に参加しているようには思えない。クラスメイトからは「解答を見せて」と当たり前のように言われる。ここまで書くとしたら批判しているようにしか思えないかもしれません。



▲授業は好きな席を選んで座ります

でも半年たって生活、文化、習慣にもようやく慣れて、良いところがどんどん見えるようになってきました。挨拶でハグをするのも、友達や家族で一つのお菓子、一本のジュースをシェアするのも当たり前。クラスメイトの男女がとても仲良くしているのを見て、「二人は恋人同士なの?」と聞くと、「違うよ」と笑いながら答えます。恋人でない男友達、女友達との関係がとても深く情熱的なのは今でも驚きます。また、スーパーで片言のスペイン語で肉を注文すると、笑顔でおまけしてくれることもあります。レジのお姉さんともすぐ仲良くなり、日本語の名前は覚えづらいからと、「Oscar :オスカル」という名前を付けてもらいました。初めの頃は「日本から来た」と言うとみんな興味津々に質問してきました。学校の数学の先生に「忍者になりたいんだがどうしたらいい?」と聞かれたのには参りました。要は、パラグアイ人はオープンな性格で、すぐに仲良くなりやすい

ということでしょうか。だからこそこっちでしかできないことが、半年たった今でも数えきれないほどあります。

▶パラグアイの代表的な料理・ポリポリ(野菜、鶏肉、ポリというトウモロコシの粉が原料の団子を一緒に煮込んだもの)



先日、出発前からお世話になっている田中さん(10年在住)に招待され「日本人会」に参加しました。日系企業の日本人駐在員家族や、約50年前に移住された日系人の方々とも初めてお会いしました。話を聞くと、初めは苦勞が多く、今でも価値観の違いなどでぶつかることはあるが、パラグアイ人と日本人の両者の性格の良さから、関係が途切れることはないそうです。日本学校(日本語だけではなく、文化も教える)もあり、日本文化の発信に一役買っているそうです。パラグアイで生まれ育った同世代の日系の学生は、日本のことを誇りに思うと言います。彼らは、一度は日本に行って文化や進んだ技術を勉強して帰って来たい、日本人として生まれたことで、日本とパラグアイの架け橋のような人間になりたいと言っていたのが印象的でした。

このようになんか内容の濃い毎日を過ごしています。AFSを利用して世界中に留学している第60期の日本人派遣留学生のメンバー約200人とは、ネットを通じて各国の様子を知ったり、時には励まし合ったりしています。またパラグアイに留学に来ている他の国々の派遣生との交流も定期的にあります。そこでの交流で出身国の様子を教えてもらっています。そういう意味では、自分が留学しているのはパラグアイですが、世界中の国々の異なる文化を同時に学んでいます。これから12月に向けて、暑くなっていきますが、周りの人との関係も熱くなっていきそうです。出発する前、「せっかく留学するのだから、パラグアイ人になって帰ってこよう。」そう思っていました。実際半年たって「自分が日本人であることに誇りを感じ、自分自身が周りからリスペクト(尊敬)されるような人間になる。」と思うようになりました。今、自分を、日本を、世界を見つめる時間を感じつつ・・・。



▲ホストファミリーと(筆者は中央)



お世話になっている
田中裕一さんのホームページ

「パラグアイへ行こう」

パラグアイの自然やグルメ文化など現地情報が満載!

<http://www.mars.dti.ne.jp/~mitsui99/kanko/hidari.html>

Japanese Language Classes, Second Term

All classes are free

These classes provide foreign residents of Tottori with an enjoyable way to learn the conversational essentials for daily life. Continuing and returning students are also welcome to join these classes at any time.

※some classes may require purchase of textbook

Contact your local TPIEF office for information and inquires (contact information on last page)

		Time		Venue
East (Head Office)	9/-12/8 (14 sessions)	Sun.	0Class (Fundamentals)	10:00-11:00
			A①Class (Basic)	11:00-12:30
			A②Class (Basic)	
			B①Class (Elem.Conversation)	1:00-2:30
			B②Class (Essential Kanji)	2:40-4:10
				TPIEF Head Office (4-110-5 Koyama Nishi, Tottori City)
Central (Kurayoshi Office)	10/2-1/29 (16 sessions) ※No class on 12/25 or 1/1	Wed.	Basics	1:30-3:00
			Conversation	
West (Yonago Office)	9/22-2/9 (16 sessions) ※No class on 11/3, 11/10,12/1, 12/15, or 12/29	Sun.	Elementary Intermediate	10:15-11:45
				Yonago Convention Centre (294 Suehiro-cho, Yonago City) ※Please inquire for details.

Interviews for Japanese Learners

Private Student

David Baldy (France)

I take private lessons because I can't always get to the Sunday classes. When I don't understand something in the textbook, the volunteers are able to explain it in simple Japanese. Sometimes they give me advice that encourages me to keep studying when the going gets tough.



Individual Instruction (West)

Introducing volunteer instructors for study periods outside of regularly scheduled Japanese classes, for learners who want to review or who have other obligations on class days.

Japanese Class Student

Yumi Kodani (China)

Volunteers are always willing to explain things again and again until I get it. My goal is to be able to speak native-level Japanese so that I can use it at work, so it's a big help that they're able to help me perfect my pronunciation. It's also a lot of fun talking with both the teachers and the volunteers in class.



Japanese Class (Central)

Disaster Prevention Workshop for Foreign Residents

4 August at Sazanka Kaikan

This workshop was held in cooperation with the Tottori Police Department in order to help international residents prepare for emergency situations, especially those who come from countries little affected by natural disasters.

Starting with scenes from the Tottori Earthquake of 1943 and Western Tottori Earthquake of 2000, participants learned how earthquakes happen without warning and cause massive injury from falling furniture and building collapse, and how they can purchase devices at their local home centre to secure their furniture, as well as what to do in response to broadcasts of earthquake information, how to check local emergency shelters, prepare emergency survival kits, and sampling of emergency rations.

At the end instructors stressed that although a survival kit is important, the most important thing is being able to flee from the site as soon as disaster is evident, in order to save your own life.

Participants expressed that they hadn't know about the things they could do to prepare, that they were glad to have had the chance to see a survival kit firsthand, and how essential they felt it was to be ready on a day-to-day basis. We would like to hear more thoughts and comments from everyone as we plan for more disaster prevention workshops!



Essential Emergency Items

This Year Again!

3 Big Inter-prefectural International Exchange Festivals

East

25th Annual TIME Festival

~ Join the Culture Rainbow ~

When: 17 November (Sunday) 11:00-3:30

Where: Torigin Bunka Kaikan (101-5 Shoutoku-cho, Tottori)

Individuals and organisations interested in participating please apply by 18 October (Friday). Application forms are available on our web site.

Central

Kurayoshi International Exchange Festival 2013

When: 1 December (Sunday) 10:00-3:00(scheduled)

Where: Houki Shiawase no Sato (458 Oda, Kurayoshi)

West

Hello Houki International Exchange Festival #10

~ Feel the Harmonious Difference ~

When: 3 November (Sunday holiday) 11:00-4:00

Where: Yonago Convention Centre (294 Suehiro-cho Yonago)

日语学习班 第II期举办的通知

 上课费 免费

日语学习班是为了帮助鸟取县内的外国出身者，愉快地学习日语而举办的学习班。讲师和日语志愿者老师将协助大家学习日语。对学习日语有毅力、有恒心的外国出身者人士任何时候、任何人都可以参加。

※也有需要教科书费用的班级

咨询：鸟取县国际交流财团各事务所（联络处请参阅最后一页）

	时 间		地 点			
东部 (总所)	9/8~12/8 (共14回)	的星期天	0班(基础前班)	10:00~11:00	财团总所 (鸟取市湖山町西4-110-5)	
			A①班(基础班)	11:00~12:30		
			A②班(基础班)			
			B①班(初级会话班)	13:00~14:30		ざさんか会館、 高齢者福祉センター (鸟取市富安2-104)
			B②班(生活汉字)	14:40~16:10		
C班(中级班)						
中部 (仓吉事务所)	10/2~1/29 (共16回) ※12/25,1/1休息	的星期三	基础班 会话班	13:30~15:00	鸟取县中部综合事务所别馆 「会议室」、「相谈室1,2」 (仓吉市東巖城町2)	
西部 (米子事务所)	9/22~2/9 (共16回) ※11/3,11/10,12/1,12/15,12/29休息	的星期天	初级班 中级班	10:15~11:45	米子コンベンションセンター (米子市末広町294) ※详情请咨询。	

采访日语学习者



「想进一步做到日语学习班的预习·复习」「上课天有工作…」对应这些问题，日语学习班以外的时间，介绍日语志愿者老师进行个别指导学习。

个别学习者



バルディさん (法国出身)



个别学习(西部)

由于上不了星期天日语学习班的课，现在在志愿者老师的指导下学习日语。教科书里不懂的内容志愿者老师会用浅显易懂的日语进行说明，有时就怎样才能将日语学习坚持下去也提出切实可行的建议，有时还会得到老师的鼓励。

日语学习班学习者



小谷さん (中国出身)



日语学习班(中部)

日语不懂的地方日语志愿者老师总是很有耐心告诉我。因为我的目标是讲像日本人一样的日语、并应用到工作上去，非常感谢老师能很好地教我发音。在日语学习班，能和老师以及志愿者老师对话，我非常开心。

为外国人举办的防灾研讨会



鸟取市也有过这样的大地震！真吓人！



介绍非常时期的拿出品

为了让少灾害出身国的人们提高防灾意识，承蒙鸟取警察署的大力合作，举办了有关地震时的防灾知识研讨会。

时间 8月4日(星期天)
地点 ざさんか会館

研讨会首先看了过去鸟取县有过的大地震映像，地震是突发性的，什么时候发生也不知道。地震时家具的倒塌以及落下时会造成人员伤亡。在家里为了防止事故的发生、杂货店里可购买防止家具倒下的用品、听到地震速报后的行动、确认居住地域的避难所、非常时期的拿出品和储备品、非常时期食物的试吃等都亲身体会了一下。

最后讲师说：「尽管非常时期有必要准备非常时期的拿出用品袋，但当感到有危险时要尽快逃命，首先要确保自己生命的安全才是最重要的。」参加人员都严肃认真的听取了讲师的讲话。「地震时要注意这样的事情我都不知道」、「怎样携带拿出品用身体演示做的很好」、「为了保护自己有必要从平时的准备做起等，很有帮助」等感想。今后，还将举办对大家有帮助的防灾研讨会，有兴趣的人士敬请参加！

今年也将陆续举办！

县内三大国际交流节

东部

第25回タイム交流节 ~25年的轨迹~

时间：11月17日(星期天)11:00~15:30
地点：とりぎん文化会馆(鸟取市尚徳町101-5)

* 募集参加者和参加团体

报名截止日：10月18日(星期五)报名用纸可从财团HP下载。

中部

くらし国際交流节2013

时间：12月1日(星期天)10:00~15:00(预定)
地点：伯耆しあわせの郷(仓吉市小田458)

西部

第10回ハローほうき国際交流节 ~相互认知不同点~

时间：11月3日(星期天·节假日)11:00~16:00
地点：米子コンベンションセンター(米子市末広町294)

【公益財団法人鳥取県国際交流財団】

あなたもぜひ、賛助会員に!

当財団では、県民の皆様の幅広い支援・参加を得て、皆様とともに県民参加型の国際交流事業を進めていくため、趣旨に賛同して下さる賛助会員を広く募集しています。国際交流に興味はあるけど何から始めればいいのか分からないとお悩みの方も、まずは当財団の賛助会員に!きっと楽しい世界が広がるはずです。皆様のご入会をお待ちしております!!

入会方法

財団の各事務所で入会を受付けています。また、公共施設にも申込用紙を置いてありますので、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

【入会対象者と年会費】

個人会員	1口/ 2,000円
学生会員 (高校生以下)	1口/ 500円
団体会員	1口/ 10,000円

※会員期間は、毎年度4月1日から翌年の3月31日までです。
※途中入会の場合、年会費は入会月に合わせて割引になります。

会員特典

特典1 財団情報紙(年4回)「とっとり国際通信」送付

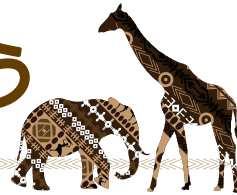
特典3 提携飲食店、観光施設等割引サービス

特典2 財団図書貸し出し増冊サービス

特典4 旅行会社のパック商品等優遇割引

※提携している飲食店、観光施設、旅行会社等とサービス内容については、ホームページに掲載しているほか、一覧表を機関紙と共に送ります。

アフリカをみてみよう



財団本所にアフリカをテーマにした絵本や小・中学生向けの文学書をそろえた「アフリカコーナー」が登場!

「アフリカ」と聞くと、何を想像しますか。サバンナにいる動物、泥染めの民族衣装、伝統楽器の太鼓、または内戦や飢きんなどかもしれませんね。このコーナーには、裸足で大地を走り回る子どもたちの元気な姿や、アフリカの心豊かな生活が伝わってくる絵本、子どもたちの遊びや昔話、民族衣装や料理を紹介した本、奴隷制度や人種問題にふれた文学書などを集めました。アフリカの人・暮らし・文化を感じてください。



楽器も展示しています!

どんな音が出るか手に取ってみてください

※国際理解や国際交流の活動で使用する場合、楽器は無料で貸出しています



おすすめ図書



『たのしい おまつり』
—ナイジェリアのクリスマス—
まつりの主役である精霊の仮装にあこがれる少年や、クリスマスの準備が進む村の様子が生き生きと描かれている写真絵本。



『アフリカの音』
踊りと太鼓が生活のすべてに密着しているアフリカ。美しい絵とともにどのページからも太鼓の音が聞こえてきそうです。



『ぼくはマサイ』
—ライオンの大地で育つ—
アメリカで教壇にたつという夢を追い続けたマサイ族の少年の物語。

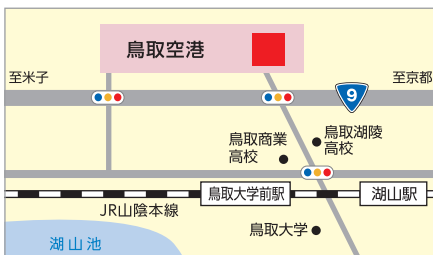
本所

Head Office / 本所

〒680-0947
鳥取市湖山町西4丁目110-5 鳥取空港国際会館1F
TEL. (0857)31-5951 FAX. (0857)31-5952
E-mail / tic@torisakyu.or.jp

■利用時間

平日 9:00~18:00 土・日 9:00~17:30
祝日・年末年始はお休みです



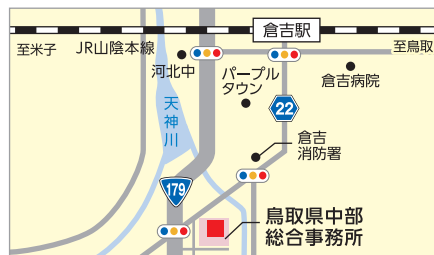
倉吉事務所

Kurayoshi Office / 倉吉事務所

〒682-0802
倉吉市東蔵城町2 鳥取県中部総合事務所別館
TEL. (0858)23-5931 FAX. (0858)23-5932
E-mail / tick@torisakyu.or.jp

■利用時間

平日 8:30~17:15 土日・祝日・年末年始はお休みです
※臨時に閉所する場合は、HPで随時お知らせします。



米子事務所

Yonago Office / 米子事務所

〒683-0043
米子市末広町294 米子コンベンションセンター1F
TEL. (0859)34-5931 FAX. (0859)34-5955
E-mail / ticy@torisakyu.or.jp

■利用時間

平日 9:00~17:30 土・日 10:00~17:00
祝日・年末年始はお休みです

